

平成26年度 認定

茨城県・土木学会選奨土木遺産 公募候補推薦調書（申込書）

記入日 平成26年6月18日

候補の名称 (ふりがな)	水戸市低区配水塔 (みとし ていくはいすいとう)
完成年	昭和7年(1932)
諸元・形式等	鉄筋コンクリート造り円筒型のバルコニー回廊付き建造物 高さ 21.6m、直径 11.2m (鋼製水槽：内径8.0m、水深6.5m、容量358 ^m)
設計・工事監督	後藤鶴松(水道技師)
施工者	高砂鉄工株式会社
推薦理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水戸市低区配水塔は、水戸市の低地部である下市(しもいち)地区に上水を給水する近代水道施設として建設された。 ・ 設計並びに工事監督は、熱海(静岡)や真鶴(神奈川)など全国の水道工事を手がけた水道技師の後藤鶴松による。 ・ 当配水塔は鉄筋コンクリート造りで、その外観は、塔の中央部にバルコニー回廊が一周し、その上部には、2箇所消防ホースをシンボライズしたレリーフが彫られており、水道用だけでなく消防用水としての役割もあった。また10箇所ある丸窓にもレリーフが施され、窓の上部がアーチ状になった長窓がある。 ・ 塔内の上部空間には、鋼製の水槽が設置されており、その水槽の接合部は、すべてリベット止めになっている。また、敷地内には、同時に量水棟も建設されている。 ・ 昭和60年(1985)に近代水道100選に選ばれ、平成8年(1996)には、国の有形文化財に登録された。 ・ 当配水塔の水道施設としての機能は、平成11年(1999)に停止し、67年間の役目を終えることとなったが、水戸市民の熱い思いから、当配水塔は、近代水道の象徴として保存されることとなった。 ・ 淡い水色と肌色のコントラストが映える美しい外観を持つ配水塔は、敷地の公園化整備と相まって近代化土木遺産として、市民に親しまれている。

	<ul style="list-style-type: none"> 水戸市水道部は建設当時の手書きの設計図を保存しており、昨年度は土木学会が創設100周年記念事業として進めている土木コレクションにも登録され、現在は各地で開催されている土木コレクション展に参画している。
所在地	茨城県水戸市北見町2-11
管理者	水戸市水道部、水戸市教育委員会
管理者連絡先 (同意を得ている担当部局・担当課・係名まで記入)	〒310-0805 茨城県水戸市中央2-7-33 水戸第1ビル 水戸市水道部 電話番号：029(231)4115
選定された場合に実施を予定しているアピール方法 (選定前ですので、選定されたら実施したいと考えている内容で結構です)	<ul style="list-style-type: none"> 土木学会関東支部茨城会が、土木の日の行事の一環として実施している見学会や講演会に土木遺産紹介を組み込むと共に、茨城県や県内建設関係団体が共同して例年実施している建設事業に関するPPRイベント「茨城県建設フェスタ」で披露する。 茨城県土木部、水戸市のホームページや土木学会関東支部茨城会のホームページ及び広報誌等に掲載しPRする。
選奨土木遺産公募に関する連絡ご担当者	〒310-0852 茨城県水戸市笠原町978番25 茨城県建設技術公社 担当者名：澤島 守夫 電話番号：029(301)6600(代) FAX番号：029(301)6605 Eメール：m.sawahata@kennsetu-gijutu.or.jp



水戸市低区配水塔（昭和7年、水戸市北見町）

